

「学校自己評価」についての意見等（関係者による評価）

- 個別レッスンをはじめとする専門教育は、引き続き極めて高いレベルを維持いただき大変満足しております。新型コロナ感染症対策のため多くの制約のある中、万全の体制を取った上で各種コンサートによる演奏活動の場を確保いただき、感謝しております。

各種行事の多くが取りやめとなってしまいましたが、生徒の安全と健康を最優先とした厳しいご判断の結果であり、生徒たち以上に辛いご決断であったものと理解しております。これまで経験のない状況の中、的確に学校運営いただき大変ありがとうございました。

- 学習活動については、コロナ禍での厳しい状況の中、音楽科の高校としての特性を損なうことなく充実した指導が実施されていたと思います。コンサート等の学芸的行事についても、広大な敷地・施設を活かし、観客に制限を設けつつもほぼ例年どおり行われたことは、生徒の意欲向上に繋がったのではないのでしょうか。

進路指導や相談活動を行う上では、少人数であることや同じ音楽の道を志していることが、利点でも難点でもあると思われます。引き続き、学級担任・実技担任の先生方の連携と、生徒たちの声を聞く機会の確保を希望いたします。

- 令和2年度は、コロナ禍ということもあり、いきなりの休校スタートということで、例年とは勝手がちがい、学校側も家庭側も手探りの部分が多かったと思います。

各種行事等、中止せざるを得なかったものも多くありましたが、ドリームコンサート等、舞台での演奏の機会が0にならなかったのは良かったと思います。

- 今年度はコロナウィルスの影響で、音楽に関する授業や活動が制限され、貴校におかれましては大変ご苦勞された事と思います。そんな状況下でも生徒たちが最大限に音楽の学びが深められるようご尽力された事、学校評価からも伝わって参りました。ドリームコンサートも、例年にはない形ではありましたが、生徒に発表経験の場を与えられるよう奔走された先生方の姿や思いを感じました。今年度無事開催された事は生徒たちにとっても大きな財産になったと思います。今年度の経験が生徒たちの今後の音楽活動に生かされていくことを期待しています。

- 評価項目等の設定が具体的であり、達成状況からも、生徒の実態に合わせた適切な教育活動が行われていると確信できます。コロナ禍において生徒の安心・安全に配慮されつつ、学習意欲を下げない工夫をされている事も伝わります。かつては、生徒は主に寮生活によって自主性を身につけました。現在は、生徒に、より主体的・積極的に多様な行事等に取り組みせることで、御校の伝統である「こころの教育」がなされていると感じます。

「古き良きもの」を誠実に守りつつ、時代の変化に柔軟に対応する御校の姿勢と熱意に、私共卒業生は安心感を覚えています。